

事務事業マネジメントシート(平成22年度実績と平成23年度計画)

平成23年10月14日更新

事務事業名		シルバー人材センター運営支援事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	健康福祉部	課長名	内田 秀一郎
	施策	16	高齢者・障がい者の自立促進と社会参加			所属課	高齢者支援課	担当者名	米澤 伸仁
	基本事業	48	高齢者の働く場の提供			所属班	高齢者保険班	(内線)	2143
予算科目		会計一般	款3	項1	目4	事業連番10447	法令根拠	高年齢者等の雇用の安定等に関する法律 合志市健康福祉補助金等交付要	成果優先度評価結果：⑫ コスト削減優先度評価結果：⑥
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 22年度で終了 <input type="checkbox"/> 22年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	<ul style="list-style-type: none"> 合志市シルバー人材センターの運営を支援するため、運営に要する経費の一部を補助する。 シルバー人材センターを設置する市町村として、社団法人熊本県シルバー人材センター連合会の賛助会員となり、会費を納入する。 平成9年シルバー人材センター設立。平成19年社団法人となる。平成24年公益法人へ移行予定。 老人福祉法第3条第2項(基本的理念)、高齢者等の雇用の安定等に関する法律第40条(国及び地方公共団体の講ずる措置)に基づき補助する。 「団塊の世代」が第2の就職を終えて年金受給開始年齢に達することから、シルバー人材センターへの会員登録が増加すると見込まれる。
【業務の流れ】	※補助金の交付：①事業計画承認申請審査(補助金内示通知) ②補助金交付申請審査(補助金交付決定通知) ③補助金概算申請審査(支払(2回)) ④補助事業実績報告審査(補助金交付確定通知・概算精算手続き) ※その他：①理事会への出席(年4回程) ②総会への出席(年2回)
【主な予算費目】	負担金補助及び交付金(補助金)
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	センター事務所を総合運動公園クラブハウスへ移転統合したいとして、施設の無償貸与の要望(生涯学習課扱い)があげている。

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標	新規・拡充区分
①手段(主な活動)22年度実績(22年度に行った主な活動)(DO)	23年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
※補助金の交付：①事業計画承認申請審査 ②補助金交付申請審査 ③補助金概算申請審査・支払(2回) ④補助事業実績報告審査 ※その他：①理事会への出席 ②総会への出席	22年度と同様
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 予算の主な増減の理由
→ イ シルバー人材センター受注件数	件 シルバー人材センター設置市町村協議会参加事業を統合したことによる増
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 (社)合志市シルバー人材センター	②対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位) → イ シルバー人材センター数 箇所
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 円滑に運営できる。	③成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位) → イ シルバー人材センター会員数 人
*③成果指標設定の理由と23年度目標値設定の根拠 この事務事業の上位基本事業(高齢者の働く場の提供)の意図が「収入が確保される」であることから、就業し収入を得ることができるシルバー人材センターの会員数とした。	

(2)各指標・総事業費の推移		単位	20年度実績(決算)	21年度実績(決算)	22年度目標(当初予算)	22年度実績(決算)	23年度目標(当初予算)	24年度予定	25年度見込	
①活動指標	ア	件	2,763	2,552	2,700	2,846	2,750	2,800	2,850	
	イ									
②対象指標	ア	箇所	1	1	1	1	1	1	1	
	イ									
③成果指標	ア	人	240	244	300	253	260	265	270	
	イ									
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円	2,753	2,753					
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	(A)事業費計	一般財源	千円	5,508	5,508	8,261	8,261	8,391	7,730	7,230
		(A)のうち指定経費	千円	8,261	8,261	8,261	8,261	8,391	7,730	7,230
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	130	0	0
	人件費	正規職員従事人数	人	2	3	3	3	3	3	0
		延べ業務時間	時間	54	75	75	95	75	75	0
(B)人件費計		千円	216	298	298	391	309	309	0	
トータルコスト(A)+(B)		千円	8,477	8,559	8,559	8,652	8,700	8,039	7,230	

総トータルコスト
全体計画
～年度

(期間限定複数年度のみ記載)

事務事業名	シルバー人材センター運営支援事業	所属部	健康福祉部	所属課	高齢者支援課
-------	------------------	-----	-------	-----	--------

2 評価の部 (SEE)
 *原則は22年度の後評価、ただし複数年度事業は22年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①22年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input type="checkbox"/> 達成した <input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 成果指標（会員数）の22年度目標値は、基本事業の目標値300人を採用しており、実績との乖離があった。（成り行き値230人は達成している。）
	②23年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 成果指標（会員数）の23年度目標値には、基本事業の23年度成り行き値260人を採用しました。ここ数年の増加実績から目標達成が期待できる。
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになっていないか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 長引く景気の低迷により、雇用環境、生産・消費の面において厳しさが続いており、高齢者に対して地域社会に密着した臨時・短期・軽易な業務を提供するシルバー人材センターは、より厳しい事業運営となっている。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 類似事業はない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 国庫補助金の大幅な削減により財務・運営面では厳しい状況となるが、事務所統合による執行体制・機能の強化により、人件費・管理費等の経費が縮減されると市補助金の削減も可能である。
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 補助金交付事務に係る必要最少の業務時間数である。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 高齢者等の雇用の安定等に関する法律第40条（国及び地方公共団体の講ずる措置）に基づき補助金を交付するものである。
	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 補助金交付事務は市が行わなければならない事務である。

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

長引く景気の低迷により、雇用環境、生産・消費の面において厳しさが続くなか、高齢者に対して地域社会に密着した臨時・短期・軽易な業務を提供するシルバー人材センターは、より厳しい事業運営となっている。そのような状況にあって、受注件数・会員数を伸ばしていることは評価できる。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (PLAN)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)</p> <p>総合運動公園クラブハウスを統合事務所として、その実現に向けて支援する。これにより、執行体制・機能が強化され、職員の削減や管理経費の縮減が図られることにより、補助金の削減が可能となる。</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持	○			低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持	○																				
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁)とその解決策</p> <p>補助金の削減について理解していただくこと。(段階的に削減する等)</p>																						